2013年1月25日

SIPS委員各位

（株）データ･アプリケーション

藤野　裕司

グローバルメッセージング基盤構築ガイド（仮称）  
目次　［たたき台］

1. 作成にあたって　🡺EDIサービスプロバイダー向け
2. 目的
3. グローバルEDIの位置づけ
4. 海外との接続パターン

自社とEDIサービスプロバイダーの接続は従来通りのEDIサービスプロバイダーのサービス仕様に基づく

* 1. EDIサービスプロバイダー間国際接続
  2. 国際EDIサービスプロバイダー経由EDIサービスプロバイダー間接続
  3. 標準メッセージングクラウド経由EDIサービスプロバイダー間接続
  4. 標準メッセージングクラウド経由直接接続

1. 本ガイドラインの範囲
2. 通信方式（メッセージング）
3. ネットワーク環境
4. 通信プロトコル
5. セキュリティ仕様（通信路、認証、信頼性）
6. 通信路のセキュリティ
7. 認証（電子署名／認証局／アイデンティティ管理）と信頼性
8. 法的枠組み（国内関連法規、国際関連ガイド、等）
9. プロバイダー間契約（責任／料金等）
10. サービス機能（トランスレーション）
11. 文字コード
12. データ表現形式
13. シンタックスルール
14. メッセージ
15. 導入と保守
16. 事前調整（相手国の企業／プロバイダーとの調整）
17. 開発
18. 相互接続テスト
19. 本番移行
20. 継続的保守
21. 運用規約とサービスレベル
22. 利用者とEDIサービスプロバイダー間での取り決め事項（交換協定書と書式サンプル）
23. 海外EDIサービスプロバイダーとの取り決め事項（協定書と設定用書式サンプルの機能と運用）
24. ヘルプデスクの機能と運用
25. WebEDI、簡易型EDI（メール、HTTP/S、FTP、etc）実施上の考慮点
26. その他

以上